

# 取立山～こつぶり山～護摩堂山

【日程】 2025年3月20日

【エリア】 両白山地

【形態】 山スキー

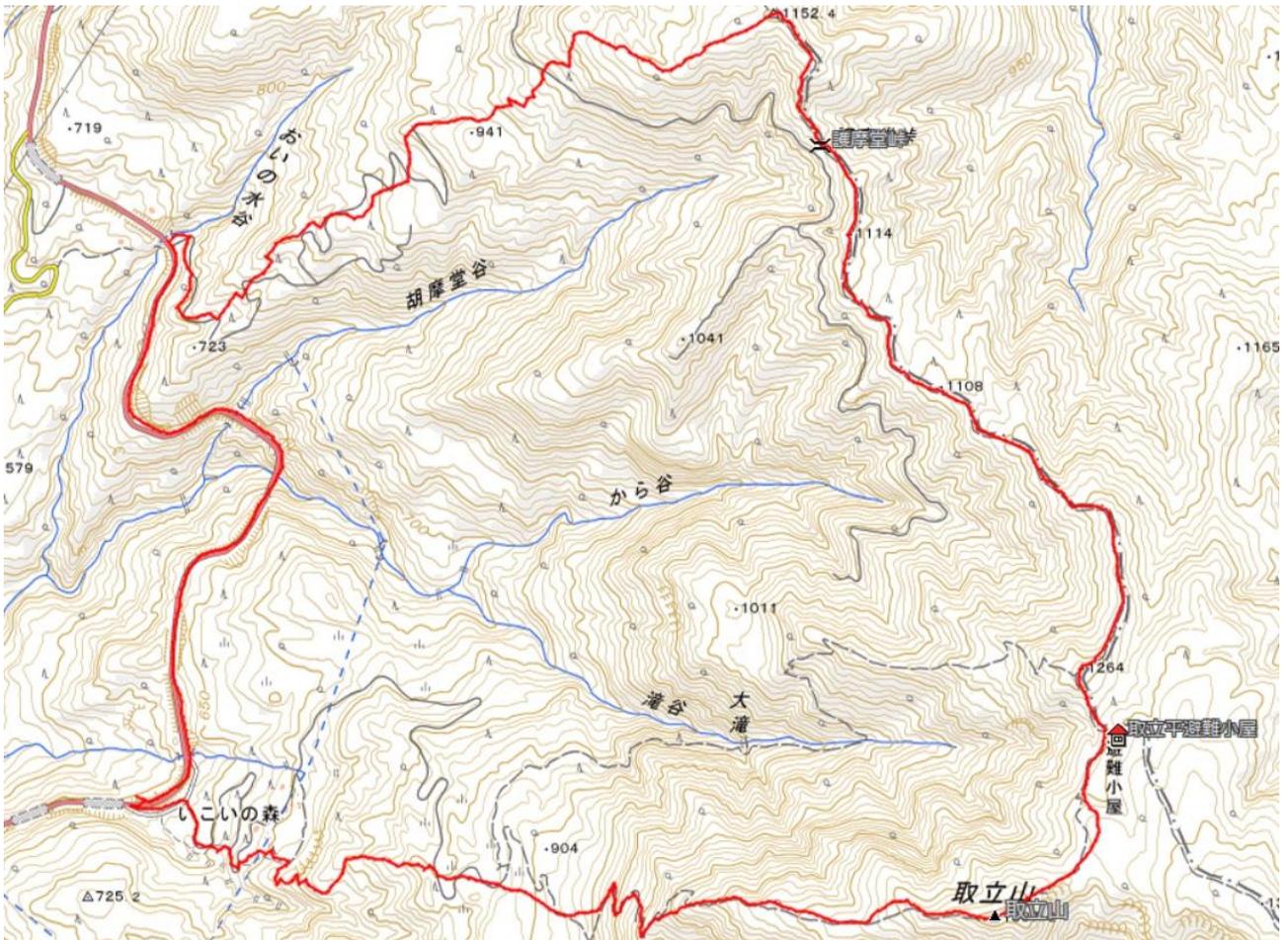
【メンバー】 Y、O

【報告】 O

《ルート／タイム》

3月20日

東山いこいの森 (7:30) ～取立山 (11:05 / 11:30) ～こつぶり山(11:55 / 12:10)～  
護摩堂山 (13:45 / 14:20) ～おいの水谷駐車場 (15:30) ～東山いこいの森(16:00)



《報告》

3月20日

Yさんからの誘いで2年ぶりの山スキーとなった。

今年は2月に入ってから数回の寒波が影響し、各地で降雪量が例年以上に多い。昨年の降雪量が少なかった分を取り戻しているかのようだ。その一方で、豪雪となったかと思えば、一気に気温が上昇し、降雪量が多くても気温が高い日の山の中での行動は、雪に足がとられ余計に時間が掛かってしまう。そのようななかで、前日19日にまとまった降雪、その翌日は全国的に気温が上昇する中、嶺北のエリアは比較的気温がそれほど上がらず、天気も曇り時々晴と、山スキーには適した一日だったといえるかもしれない。

前日19日は鯖江市内のビジネスホテルで宿泊。翌朝6時に出発し、勝山市へと向かう。東山いこいの森は国道157号線に面した駐車場。夏道が出ていれば、取立山方面へはさらに奥まで車で侵入できるとのこと。

朝7時台に到着したところ、すでに10台近い車が入っていた。どうやらスノーシューでの登山者が多いようだ。行動開始近くにあった看板は埋もれて半分以上見えなくなっており、行動してまもなくみえた東屋らしい屋根も1メートル以上の雪で覆われていた。



登山開始からほどなくみえる東屋は雪で覆われていた



本来の夏用の駐車場付近。進路の取立山の方面を臨む

車道とおぼしき道をショートカットで登りながら、本来の取立山駐車場へ到着したのは9時過ぎ。なだらかな大地となっており、ここで休憩を取る。ここから正面に見えているのが、取立山ではなくその前衛だ。いったん小さな下りを経て、今回のルートで最も勾配のある傾斜にとりつく。

スキーヤーが少ないのか、ようやくこのあたりで先行者のトレースがみつき、ありがたくルートを使わせていただく。1100mあたりからはなだらかな傾斜になっていくが、最後のきつい勾配でスキー板を担いで登ることとする。この日はアイゼンなど必要ない状況だったが、ツボ足では膝までもぐり、一步一步がなかなか思うように進まない。たった標高差10メートルほどの間板を担いで登ったが、これはスキーやスノーシューがなければ到達できないエリアだなと改めて思い知らされることになった。

ここから取立山までは再び広い台地上となる。頂上手前では細い稜線となり、雪庇の際を歩くことになる。先ほどまでのなだらかな風景はどこにいったのだろうという新鮮な気持ちになる。



取立山手前の稜線は雪庇が張り出していた



取立山頂上。白山の頂上付近はガスの中

頂上付近は再びなだらかなピークだ。ここからは本来、白山が目の前にドーンと広がる。到着した時間帯は本日の一番の晴れ間だったと思うが、中腹あたりから御前峰付近まではガスで覆われはっきりと全貌を伺うことはできなかった。これまで登ってきた荒島岳、銀杏峰、経ヶ岳など周辺の山々、そして勝山市の街並みを眼下に見下ろすことが出来た。

ここから護摩堂山まではなだらかに標高を下げていく。護摩堂山のピークには反射板が2枚あるのではっきりと目標が見て取れる。一部登り返しもあることからシールを履いたままでの移動。取立山からほどなく移動した場所に取立山避難小屋があるはずなのだが、豪雪で屋根すら見当たらなかった。こつぶり山を通過し、大きく手を広げたような白山を右手にみながら、縦走路をスキーで進む。

こつぶり山からはシールをはずして緩やかな斜面を滑走。1114m 峰の手前から再びシールを履いて護摩堂峠を越えてゆく。護摩堂山に到着すると、どなたかがこしらえていただいた雪壁を利用したベンチが残されていたので、こちらで休憩をさせていただくこととした。



取立山頂上から縦走路を臨む。左奥のピークが護摩壇山だ



護摩堂山は反射板2枚が目印



下山のツリーランは転倒もせず滑走を楽しむことができた。幾重にもシュプールが刻まれている

ここからはシールを外しての滑走タイムだ。おいの水谷方面から登ってきたスキーヤーと初めてすれ違った。取立山は福井で山スキーヤー人気のエリアと紹介されているが、護摩堂山からおいの水谷までの滑走は取立山往復よりもはるかになだらかな尾根がつづく。広い範囲がなだらかなため、気を取られているとルートを外してしまいかねないので注意が必要だ。

頂上付近からほどなく下っていくと、スキーヤーのために間伐していただいたかのような快適なツリーランが続く。湿雪のため、パウダーランには程遠いが、スキーが上手ではない私でも雪で板を取られて転倒することもなく1時間ほど時間を掛けながら下山口の駐車場へ到着した。

ここから東山いこいの森の駐車地までは歩いて車を回収する。30分ほどの距離は思った以上に長く感じた。次回、機会があるならば護摩堂山からのスキー往復が楽しいかもしれない。